

岡崎市民会館改修設計業務

公募型プロポーザル

選定結果及び講評

平成 26 年 7 月 1 日

岡崎市民会館改修設計業務委託受託者選定委員会

岡崎市民会館改修設計業務委託受託者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、岡崎市民会館改修設計業務（以下「本業務」という。）について、岡崎市民会館改修設計業務公募型プロポーザル実施要領（平成 26 年 4 月 21 日公告）に基づき提案書の審査を行いましたので、選定結果と講評をここに報告します。

平成 26 年 7 月 1 日

岡崎市民会館改修設計業務委託受託者選定委員会

委員長	清水 裕之
委員	恒川 和久
委員	永井 聡子
委員	石川 啓二
委員	竹内 秀夫

1 選定結果

第 1 受託候補者	共同企業体名称 代表者 構成員	岡崎市民会館改修設計共同企業体 株式会社日建設計名古屋オフィス 執行役員名古屋代表 西村浩 日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社 代表取締役社長 水野和則
第 2 受託候補者	共同企業体名称 代表者 構成員	香山・飯島特定設計業務共同企業体 有限会社香山壽夫建築研究所 代表取締役 香山壽夫 株式会社飯島建築事務所 代表取締役 飯島俊比古

2 審査概要

(1) 審査経過

本プロポーザルに対し、5者の応募があり、選定委員会にて、第一次審査と第二次審査を行いました。

第一次審査では、業務実績、各担当主任技術者の資格、実績、経験による客観的評価と、業務実績の特色、業務への取組体制、「岡崎市民会館改修に関する基本方針」を基に重要と考える事項の提案による主観的評価を行い、技術提案書提出要請者を3者選定しました。

第二次審査では、技術提案書提出要請者3者より提出された技術提案書について、実施方針、技術提案（テーマⅠ、Ⅱ）の審査及びヒアリングによる評価を行い、得点1位を第1受託候補者、得点2位を第2受託候補者として特定しました。

(2) 選定委員会

選定委員会の委員構成は、以下のとおりです。

[敬称略]

役職	委員名	所属等
委員長	清水 裕之	名古屋大学大学院環境学研究科教授
委員	恒川 和久	名古屋大学大学院工学研究科准教授
委員	永井 聡子	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科准教授
委員	石川 啓二	岡崎市文化芸術部長
委員	竹内 秀夫	岡崎市建築部長

3 選定委員会の開催経過

選定委員会の開催経過は、以下のとおりです。

	開催日	議事内容
第1回	平成26年4月12日(土)	<ul style="list-style-type: none">委員の委嘱委員長の選任事業概要の確認実施要領等の確認
第2回	平成26年5月25日(日)	<ul style="list-style-type: none">参加表明書の審査技術提案書提出要請者の選定

第3回	平成26年6月21日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングの実施 ・技術提案書及びヒアリングの審査
第4回	平成26年7月1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書及びヒアリングの審査 ・受託候補者の特定 ・審査の講評 ・選定委員会の答申

4 審査講評

提案に対する選定委員会での評価の概要は、以下のとおりです。

なお、表中の各社表記については、技術提案書提出者3社を示す。

評価項目	審査講評
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・実施手順の明確性について、各社の実施手順の提案が評価された。特に、A社の提案では、実績と経験が高く評価された。 ・業務への理解度では、A社の提案について、外部空間のバリアフリー化の提案と基本方針に忠実で個々の提案が高く評価され、B社の提案については、分離している建物群を一体とする提案が高く評価された。
テーマⅠ 「基本方針中、重要と考える事項についての提案」	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容的確性では、各社とも音響性能への提案は評価された。また、A社の提案については、舞台に対する提案が高く評価され、B社の提案については、客席についての提案が高く評価された。 ・提案内容の実現性では、A社の提案について、提案に対する工事費、工期、法令遵守が示されていたことが高く評価された。 ・提案内容の独創性では、B社の提案について、全体の施設への繋がりを持たせる提案は高く評価された。

<p>テーマⅡ 「工事施工期間の短縮や総合的な建設コストの低減を考慮した提案」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容的確性、実現性ともに、A社の提案について、工事期間の短縮とコストの低減に対する具体的な提案が高く評価された。
<p>ヒアリング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取組み姿勢では、各社ともプレゼンテーションの時間を余す事なく使い、熱意を持って説明され、質疑応答についても誠意を持った対応で評価された。 ・提案内容については、A社の提案について、基本方針に忠実である上に一步踏み込んだ提案が高く評価され、B社の提案については、市民のためのホールづくりとして、市民目線での提案が高く評価された。また、C社については、経験と実績によるホールの音響に特化した提案が評価された。

5 総評

本プロポーザルは、ホール等の改修という実績の少ない難しい設計の提案を非常に厳しい期間で求めたにも関わらず、5者の参加表明を頂きました。参加者には、平成25年10月に策定された「岡崎市民会館改修に関する基本方針」を基に、丁寧に読み解き、魅力的かつ完成度の高い技術提案書の提出をして頂き、本業務に向けた意気込みを感じることができました。

選定委員会では、本業務を確実に遂行するための経験と熱意、提案力と柔軟性などを兼ね備えた人材であるかどうかについて、5人の選定委員それぞれの専門分野から、これまでの経験と知識を結集し、長時間にわたり様々な観点から議論が交わされ、その優劣を評価するのに大変苦慮したところです。

選定された設計者には、本プロポーザルで評価された提案を活かすと共に、今後設計の過程で様々な関係者などから寄せられる意見や要望に真摯に向き合い、市民に親しまれる施設の実現に向け、努力を頂きたい。また、今後、岡崎市民会館が、市民が利用しやすく、多くの方に訪れてもらい賑わうホールとなるためには、設備や機能などハード面の整備も重要であるが、市民は勿論、施設を訪れた人が再び行ってみたいと思えるような仕掛けや、管理・運営などのソフト面についても充実を図り、魅力ある施設に生まれ変わることを祈念します。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして努力頂いた関係者の熱意に対して、改めて感謝申し上げます。